

<学校教育目標>

心身ともに健全で 未来を築く たくましい力をもつ生徒の育成

<めざす生徒像>

- ㊦ あいさつができる生徒 ㊧ そうじができる生徒 ㊨ 部活動・習い事を頑張る生徒
㊩ 勉強を頑張る生徒 ㊪ 進路を切り拓く努力をする生徒

人権集会 12月3日(水)

本校は千葉県の学校人権教育推進校です。

日頃より人権教育に力を入れており、年間を通して、各学級で人権について学び、考えます。その中で、全員が人権メッセージや人権作文を作成します。

今年度の人権集会では、「いわき語り部の会」から講師の先生をお招きし、「生かされた命、無駄にしない～地域で、社会で、できることはなんだろう～」というテーマで講演をしていただきました。東日本大震災で自身が体験したことを、写真や映像を交えながら話してくださいました。その言葉を一言も漏らすまいと、真剣な表情で聞く生徒の姿が印象的でした。講師の先生の言葉の中にあつた、

「少しでも「おかしい」と思ったら一早く！逃げて！助かりましょう！」

「逃げた先に必ず道は続いている！」

は、災害時だけに通じるものではありません。「これからの人生で困難にぶつかった時に、ふと思い出して肩の力を抜いてもらえると嬉しいです。」と講師の先生がおっしゃっていました。

なお、各クラスで選ばれた人権メッセージは、冬休み明けの全校集会で発表されました。

【作品介绍】

◎人権メッセージ（各学級で選ばれたメッセージ）

- 1-1 「君の命 輝く魔法 大切に」
1-2 「気づいてる？ 些細な言葉で 穴が開く」
2-1 「助けたい 思いだけでは 変わらない
見て見ぬ振りせず 声かけてみよう」
2-2 「その場のノリ その言動が 命を奪う」
3-1 「私の個性 あなたの個性 色が違うのは当たり前
『普通』の教科書なんて 破り捨ててしまおう」
3-2 「人に向け 撃ったら駄目だよ 言葉の銃口
見えにくく 治癒しにくい 心の傷」

きらめき

R8.2.2発行

生徒数
合計233名
1年 76名
2年 82名
3年 74名



学校・PTA・社会福祉協議会・地域住民で行うボランティア活動で
す。興味のある方、ぜひご参加ください！

学校林整備

毎月/第2土曜日・第4日曜日
【九時～十一時】に行っています。

椎茸菌打ち体験

1月8日(木)

本校の学校学習林を活用した森林環境教育の一環として、今年も椎茸の菌打ち体験を行いました。1年生の理科の授業を利用しての実施です。

あらかじめ穴の開けられた原木を、一人一本持ち、その穴に菌打ちを行います。初めて作業をする生徒も多かったですが、佐倉東部地区社会福祉協議会の皆さんの丁寧なご指導のおかげで、あっという間に100本の原木への菌打ちが終わりました。

終了後は全員で自分の原木を学校林に運びました。今回菌打ちした椎茸は、2年後に収穫ができるそうです。暑さに負けず、元気に育ててほしいですね。おいしい椎茸が食べられる日が来るのを心待ちにしましょう。

職業人に聞く

1月14日(水)

「キャリア教育」は「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」とされています。東中では1年生を対象に、実際に社会人として活躍されている方を講師としてお招きし、講演を行っていただく「職業人に聞く」会を開催しています。

今年度も講師の先生2名が、お忙しい中講演をしてくださいました。1年生は数年後の自分自身をイメージしながら、講師の先生のお話に熱心に耳を傾けていました。

和楽器体験

1月21日(水)、22日(木)

今年も1、2年生の音楽の授業で、箏の演奏を体験しました。講師の先生は多くの学校で箏のご指導をされているほか、ご自身も箏の演奏家としてご活躍なさっています。東中では10年以上前から、和楽器体験授業の講師として、授業を行ってくださっています。

慣れない箏や楽譜に悪戦苦闘しながらも、生徒たちが集中して取り組んでいる姿が印象的でした。グループで声を掛け合い、音楽科の先生のリズムに合わせて楽しく弾くことができていました。最後は講師の先生が模範演奏をしてくださいました。耳にも、心にも残る素敵な演奏でした。

講師の先生から、「東中の生徒さんが一生懸命に演奏する姿を見ることができて、涙が出るほど嬉しかった。何事にも、挑戦する気持ちを大切にして生活してもらいたい。来年も会えるのが楽しみです。」という言葉をいただきました。